

dot architects

POLITICS OF LIVING

生きるための力学

2023.5.18^{THU}—8.6^{SUN}

本展は、自主管理のオルタナティブスペースをつくり出す際に建築家が担える役割に重点を置いており、「ドットアーキテクトがTOTOギャラリー・間の3つのスペースを一時的に使うならどうするか」をテーマにしている。それらの場所は、全て私たちがこれまでに自前で行ってきた活動を展開したもので、バー、ミーティング、パーティー、パフォーマンス、映画、ラジオ、工房、余暇、そしてもちろん建築!と用途もさまざまである。皆さんが自分たちで自分たちの居場所をつくる際に、少しでも参考になればと思う。

1. コーポ北加賀屋

ドットアーキテクトが拠点を構える大阪と協働スタジオ「コーポ北加賀屋」の紹介。

2. イタリア、ミラノ・トリノの社会センターを巡る旅

2023年3月に実施したミラノ・トリノにある「社会センター」への訪問と、市民集会への参加記録。

3. バー

コーポ北加賀屋では、かつて不定期で「バーチャアナ」というバーの営業を行っていた。そこで稼いだ小銭は拠点の整備費にあてられていた。現在このバーは私たちが設計した「千鳥文化」という地域交流拠点に場所を移しているが、今でもたまに出張バーとしてあちこちに出動している。

4. 博物館

現在、コーポ北加賀屋の2階共有部を博物館にする予定が持ち上がっている。そこではものの良し悪し、歴史の深い浅いに関係なく、コーポ北加賀屋のメンバーの作品、収集物、商品、実験物、失敗物などあらゆるものが並ぶ予定である。

5. ライブラリー

コーポ北加賀屋の共有部にはかつてライブラリーコーナーが存在しており、メンバーの蔵書にアクセスすることができた。しかし、粉塵や湿気によって本が痛んだため現在は引っ込めている。本展ではドットアーキテクトの思考の下支えになっている本や、イタリアの社会センターや運動に関する書籍やZINEを読むことができる。

6. シルクスクリーン工房

かつて自作の焼き付け機を持参しオリジナルTシャツをつくっていた出張シルクスクリーン工房の展開版。ここで刷られたTシャツは2階のBookshop TOTOで購入することができる。会期中に開催されるワークショップでは、数種類ある版から好きな柄を選んで自分で刷ることができる。

7. ラジオ局

自前のメディアとして、私たちが設計や施工、運営で関わった小豆島の「馬木キャンプ」や北加賀屋の千鳥文化でラジオ放送を行っていた。このラジオでは、スポンサーに気を使うことなくゆるく伝えたいことを伝える。ここでも不定期にラジオ放送をするかもしれない。

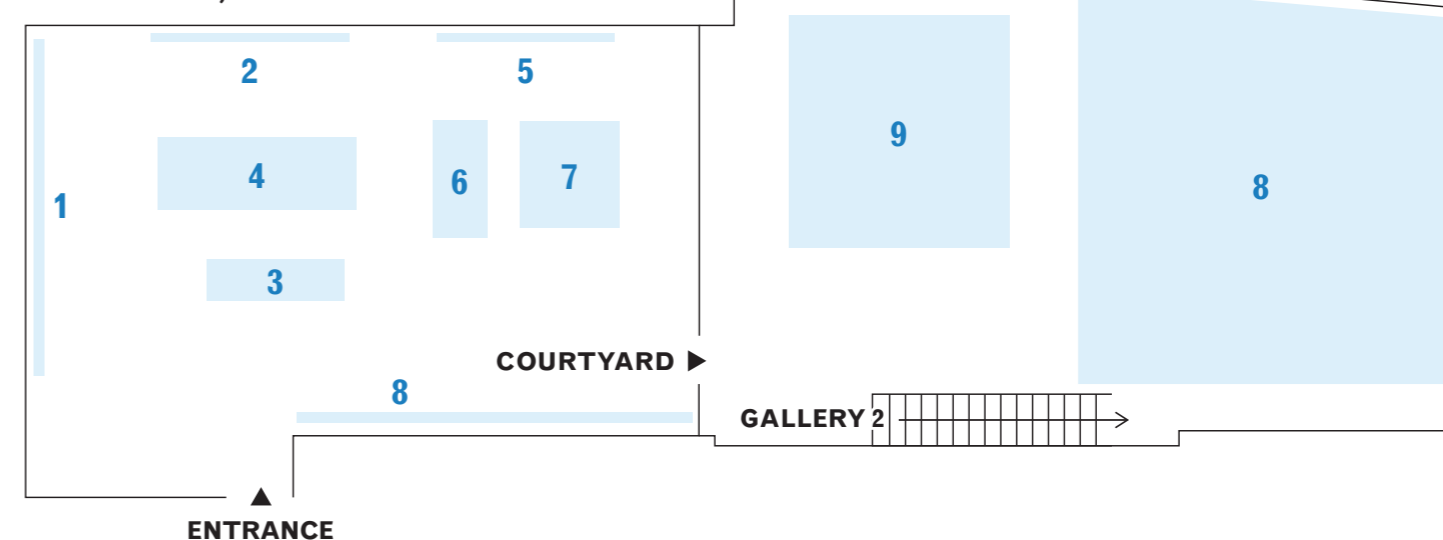
8. 乃木坂バタールゴルフ???倶楽部!!

余暇も自分たちでつくる。バタールゴルフのコースは2つ。「ノギザカストレート」と「ノギザカノベンザ」。運と冷静さが試される。このバタールゴルフ場は2023年1月に「せんだいメディアテーク」1Fオープンスクエアで開催されたcontact Gonzoとドットアーキテクトが協働した「定禅寺バタールゴルフ???倶楽部!!」の続編。

9. 屋外工房

自分たちの拠点やコミュニティのための空間に手を加えるためには、工房機能が欠かせない。コーポ北加賀屋には共有の作業場のほかに、デジタルファブリケーションを備えた「Fablab Kitakagaya」や木工所がある。本展の屋外工房では、バタールゴルフを楽しむためのバタールを自作することができる。

GALLERY 1, COURTYARD



主催：TOTOギャラリー・間
企画：TOTOギャラリー・間運営委員会（特別顧問＝安藤忠雄、委員＝千葉 学、塚本由晴、セン・クワン、田根 剛）
後援：（一社）東京建築士会、（一社）東京都建築士事務所協会、（公社）日本建築家協会関東甲信越支部、（一社）日本建築学会関東支部
協力：contact Gonzo、UMA/design farm
協働：（株）林琢真デザイン事務所（グラフィックデザイン）、（有）シリウスライティングオフィス（照明コンサルタント）

10.ギャラリー

ドットアーキテクト初作品集である『POLITICS OF LIVING』（発行:TOTO出版）に掲載されている、建築の展示及び現在進行形のプロジェクトの展示。

a. No.00

竣工年：2011

主要用途：専用住宅

模型縮尺：1/30

所在地：兵庫県西宮市

構造設計：小西泰孝建築構造設計

1階が陶芸教室、2階と3階が住居。南側に神社、東に畑が広がる特徴的な外部環境。建物の中心に階段が入る大黒柱のようなコンクリートコアがあり、そのコアを中心に各居室の用途を分けて配置していくシンプルなプラン。建物のボリュームを軽減させるために3階を屋根裏とし、屋根形状は入母屋とマンサード屋根の混合となっている。また、外部環境と関係性をつくるためにさまざまな開口を用いている。

b. 仮の家

竣工年：2022

主要用途：専用住宅

模型縮尺：1/30

所在地：静岡県浜松市

構造設計：片岡構造

浜名湖の湖畔に建つ住宅兼アトリエ。「終の住処」ではなく、庭仕事や創作を行う新たな生活の実験所として10年間使うことができればいい」という施主の要望に答え、大きな石の上に、小屋がポツと載っているような建築を提案。日本の建築文化が培ってきた「石場建て」の伝統構法ではなく、石の上に土台を流し、その上に壁を載せる、いわば垂流の「石場置き」である。壁は加工した紀州杉を組み合わせただけでできている。建物と同じくらい重さが置かれている庭は施主の実験所であり、この建物は私たちと施主との合作といえる。

c. No.07

竣工年：2017

主要用途：専用住宅

模型縮尺：1/30

所在地：大阪府大阪市

構造設計：片岡構造

築100年を超える5軒長屋の1軒を改修した、2階建ての住居。1945年の大阪大空襲の戦災を免れたことにより、現在も周りには長屋の地割や細い路地が残る。北側には細い路地や小さな菜園スペース、程よい大きさの公園に隣接している。改修では、長屋の特徴である暗さや閉塞感を軽減するため光を採り込むこと、また建設当初にあったと思われる表から裏への抜け感を取り戻すことを試みた。

d. 馬木キャンプ

竣工年：2013

主要用途：集会場

模型縮尺：1/30

所在地：香川県小豆郡小豆島町

構造設計：満田衛資構造計画研究所

「瀬戸内国際芸術祭2013小豆島・醤の郷+坂手港プロジェクト」の一つとして自力建設した建築。専門家・非専門家を問わず誰もが建設に参加できるよう設計されている。筒状のコンクリート基礎に柱を差し込む、現代版掘立柱構造。木造部分は身近なハンドツールで加工・組み立てができる。地域の素材や、近隣の解体された建物の資材を利用し、建設材料費は300万円。小豆島の方々と協働しながら4ヶ月で竣工した。

e. 千鳥文化

竣工年：2017

主要用途：事務所、店舗、展示場

模型縮尺：1/30

所在地：大阪府大阪市

構造設計：満田衛資構造計画研究所

大阪市住之江区北加賀屋にある、食堂、バー、商店、ギャラリーなどが入居する文化複合施設。この建物は、かつて「千鳥文化住宅」と呼ばれ、造船業が興盛した時期に北加賀屋にいた労働者の生活の場であった。廃材の再利用で増改築を繰り返されていた、建設当時の大工さんや住み手によるその場しのぎの工夫をできるだけ残し、2017年に1期が竣工。その後、2020年に2期が竣工した。ドットアーキテクトは現在もなお、近隣で活動する“住民”として運営に関わっている。

f. O邸

計画開始年：2021-

主要用途：専用住宅

模型縮尺：1/30

計画地：香川県直島町

築約50年の木造住宅の改修設計。当時から段階的な造成によって土地の形状が変わり、元々構えていた南側の玄関が広がりがない状況となっていた。その玄関を西側へ再配するところから計画を始めた。西側に大きな開口を、北側にはトップライトをもつ水回りを配し、住宅全体に光が充満することを意図している。

g. M邸

計画開始年：2018-

主要用途：専用住宅

模型縮尺：1/20

計画地：大阪府茨木市

構造設計：片岡構造

敷地は大阪府のベッドタウンとしての性格がある茨木市。旗竿敷地に建つ住宅の建て替えである。小さな都市型住宅であるが、建物のフットプリントに比して大きなホールを持っている。この「ホール」と呼ばれる場合は、他の全ての諸室と接続しているが、少しの独立性を保つように計画し、同時に屋内屋外に対する視線の抜けをつくっている。

h. I邸

計画開始年：2021-

主要用途：専用住宅

模型縮尺：1/30

計画地：京都府京都市

構造設計：片岡構造

築100年を超える平家の住宅の改修。建設当時は資材不足であったのか、構造材の多くが細い丸太でできていたため、新たに構造を補強しつつ、細かった間取りを解体して庭と連続する大きな居場所をつくることを目的としている。

i. 仮の家2

計画開始年：2022-

主要用途：アトリエ、レジデンス

模型縮尺：1/100

計画地：香川県直島町

構造設計：片岡構造

作家が滞在制作するための、アトリエ棟、レジデンス棟、ビューイングルーム棟の3棟からなる。「仮の家」と同じく「石場置き」で、壁は杉材のみでできている。「仮の家」で実験した構造形式を拡大・展開したもの。

j. 日野工房

計画開始年：2022-

主要用途：工房、レジデンス、ギャラリー、研修スペースなど

模型縮尺：1/50

計画地：滋賀県蒲生郡日野町

構造設計：陶器浩一

日野町の魅力をさまざまなかたちで伝え、地域住民の交流をはじめ、町外の人々との交流を促す小規模多機能施設。工芸をはじめとする新しいものづくりの拠点となり、作家のレジデンス、共有キッチン、ギャラリー、研修スペース、ライブラリーなどの機能がある。敷地が神社の参道に面するため、日野町に残る商家の建ち方を調査し、地域の景観を引き継ぐよう設計している。

k. MOCA OLIVE HILLTOP

計画開始年：2022-

主要用途：ギャラリー

模型縮尺：1/100

計画地：香川県小豆郡小豆島町

構造設計：満田衛資構造計画研究所

建物の用途はギャラリーとカフェ。敷地は、南に向かって下がっていく尾根を挟んで、西側は木が生い茂る山林の急斜面、東側は斜面地にオリーブの畑が広がる。山林を伐り開かず、オリーブ畑の邪魔もせず、その間のわずかな隙間に、建築が山の世界と畑の世界を隔てる長城のように尾根の地形に馴染むよう敷地の幅いっぱいに細長く建設される予定である。床はほぼ地形の勾配のままの斜面になっている。

11.映画館

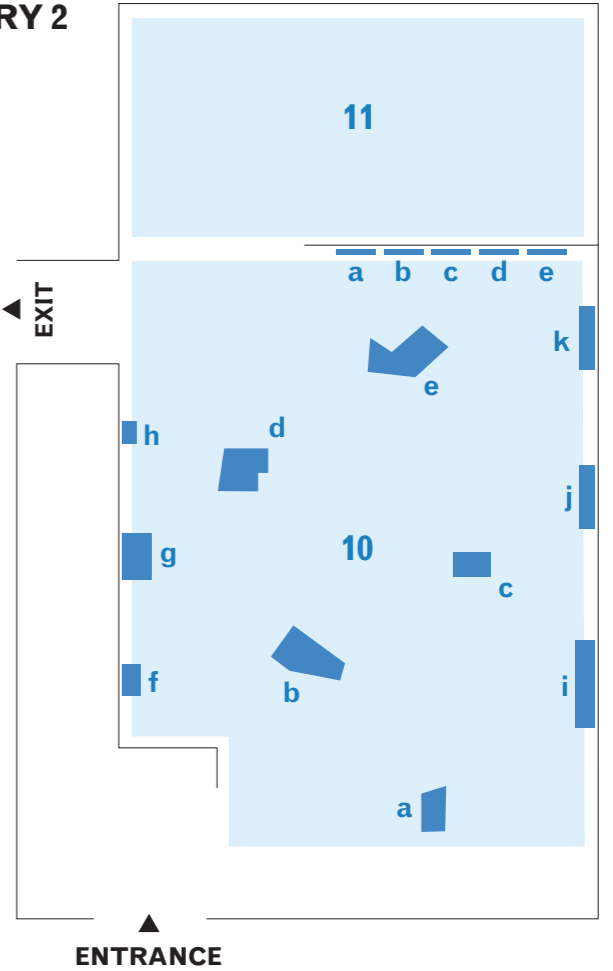
映画も自作。小豆島・馬木の方々と制作した「思いやり」、contact Gonzoと共同制作した「ギャラクティック運輸の初仕事」と2本の自主映画制作に関わってきた。ここでは「ギャラクティック運輸の初仕事」を1日に3回上映する。

上映回：連日 12:00-、14:00-、16:00-

上映時間：約90分

言語：英語（日本語字幕）

GALLERY 2



dot architects初の作品集

2F Bookshop TOTOにて販売中！



協力：1. コーポ北加賀屋 おおさか創造千鳥財団、ファブラボ北加賀屋、アトリエカフェ、NEW DOMAIN 2. ミラノ・トリノの社会センターを巡る旅 櫻田和也 remo [NPO法人 記録と表現とメディアのための組織] 4. 博物館 remo [NPO法人 記録と表現とメディアのための組織]、102木工所、アトリエカフェ、contact Gonzo、graf 5. ライブラリー remo [NPO法人 記録と表現とメディアのための組織] 7. ラジオ局 小西小多郎 (adanda) 8. 乃木坂バターゴルフ???倶楽部!! 定禅寺バターゴルフ 主催：せんだいメディアテーク（公益財団法人 仙台市市民文化事業団）乃木坂バターゴルフ 定禅寺バターゴルフ倶楽部、NAZE (contact Gonzo) 11. 映画館 「鉄道芸術祭 vol.10 GDP THE MOVIE ～ギャラクティック運輸の初仕事～」(2021) contact Gonzo / アートエリアB1・大阪